

令和7年度 第3回 幕別町社会教育委員会議

日 時 令和8年3月5日（木） 14:00

場 所 幕別町教育委員会 会議室

日 程

1 あいさつ 幕別町社会教育委員会委員長 原田 啓二

2 報告事項

報告第1号 幕別町社会福祉協議会評議員及び幕別町共同募金委員会評議員の推薦について

報告第2号 令和7年度十勝管内社会教育委員研修会参加報告について

報告第3号 社会教育係所管事業の報告について

報告第4号 社会体育係所管事業の報告について

報告第5号 生涯学習係所管事業の報告について

報告第6号 図書館所管事業の報告について

3 審議事項

議案第1号 令和7年度 文化賞・スポーツ賞等の選考について

4 その他

2 報告事項

報告第1号 幕別町社会福祉協議会評議員及び幕別町共同募金委員会評議員の推薦について

- 1 任 期 令和8年3月～令和11年6月定時評議員会終結時まで（残任期間）
- 2 推薦委員 市川 徹 委員
- 3 推薦期日 令和8年2月16日

報告第2号 令和7年度十勝管内社会教育委員研修会参加報告について

1 令和7年度十勝東部4町社会教育委員研修会

- (1) 日 時 令和7年11月12日（水）午後4時30分～
- (2) 場 所 幕別町百年記念ホール
- (3) 参加者 16人（原田委員長、森委員、浅見委員、近藤委員、高道委員、宮本委員、市川委員、池田委員、新保委員、西田委員、笹原教育長、石田部長、谷口課長、松田係長、瀧川主任、大山主事補）
- (4) 内 容 講 議：「空き家を活用した地域再生の取り組みについて」
講師 幕別町地域おこし協力隊 谷保 明洋 氏
幕別町の取り組んだ実例を参考に、地域と連携した空き施設の活用方法や、まちの再生や教育との融合についての講話を拝聴した。
映 画：「馬櫓の花嫁」
情報提供：「道内の社会教育活動事例について」
講師 十勝教育局教育支援課社会教育指導班主査 皆川 敬太 氏

2 令和7年度(第54回)十勝管内社会教育委員研修会

- (1) 日 時 令和7年12月17日（水）午後1時30分～3時30分
- (2) 場 所 芽室町中央公民館
- (3) 参加者 10人（原田委員長、近藤委員、高道委員、宮本委員、市川委員、池田委員、新保委員、松田委員、井原委員、松田係長）
- (4) 内 容 講 議：「頑張ったのに、本番で転んだ話」
講師 株式会社エフエムおびひろ（jaga）DJ 栗谷 昌宏 氏
ゲストスピーカー スピードスケート元日本代表 土井 慎悟 氏
今年100周年を迎えた帯広スケート連盟の記念イベントでMCを務め、100m測定会に一般参加もした栗谷氏が、同じくイベントに参加していたバンクーバーオリンピックの日本代表選手だった土井氏とともにイベントを振り返りつつ、オリンピックの裏話やスピードスケートの魅力について語った。

報告第3号 社会教育係所管事業の報告について

1 学校芸術鑑賞事業について

- (1) 日 程 令和7年11月17日(月)～19日(水)
- (2) 場 所 幕別町百年記念ホール 大ホール
- (3) 対 象 町内全小中学校
- (4) 内 容 声楽『ワンダフルミュージカル』
- (5) 参加者 1,865人

2 冬休み「学び隊」について

- (1) 開催日程 令和7年12月25日(木)、12月26日(金)、
令和8年1月5日(月)～1月8日(木) 6日間
午前9時30分～11時30分
- (2) 会 場 幕別小学校、札内コミプラ、札内南コミセン、札内北コミセン
- (3) 参加対象 幕別町内の小学4年生から6年生
- (4) 内 容 学習は自習形式で学習教材・用具は各自で用意。
講師は、児童の質問に答え自主学習をお手伝い。
1月5日(月)はふるさと歴史館「ねんりん」(芽室町)を見学。
1月9日(金)は幕別町アイヌ施策推進地域計画に定めるアイヌ文化学習
推進事業として、「アイヌ文化を学び隊」を実施。
- (5) 指導講師 幕別小学校：佐々木 貴子 氏
札内コミプラ：中寺 雅子 氏、中村 友香 氏
南コミセン：三浦 智 氏、須崎 昇 氏
北コミセン：昆 睦 氏、堂山 恵美子 氏、坂本 陽子 氏
※12月26日(金)に帯広大谷短期大学の学生8人がボランティア講師と
して参加(札内北コミセン、札内南コミセン)。
※幕別清陵高校学生に、コミプラ会場では12月25日(木)、26日(金)、
1月8日(木)計6人、札内北コミセン会場では1月7日(水)、8日(木)
計1人にご協力いただいた。
- (6) 参加者 幕別小学校2人(幕小) 札内コミプラ4人(白人小)
南コミセン6人(札南小) 北コミセン 4人(札北小) 合計16人

3 令和8年はたちのつどいについて

- (1) 日 時 令和8年1月11日(日) 午後1時30分～2時45分
- (2) 場 所 幕別町百年記念ホール 大ホール
- (3) 対 象 者 平成17年4月2日～平成18年4月1日までに生まれた方

	男	女	計
町内在住者(住基)	81	110	191
町外在住者	36	32	68
計	117	142	259

- (4) 出席者数 男性84人、女性101人 計185人(出席率71.4%(前回(R07)75.3%))
- (5) 記念品 マグボトル
- (6) その他 ・ 恩師からのビデオメッセージを式典終了後に上映。





4 令和7年度中学生・高校生海外研修派遣事業について

- (1) 研修期間 令和8年3月25日（水）～3月31日（火）7日間
- (2) 研修先 オーストラリア（シドニー、キャンベラ）
- (3) 研修日程

日次	月日	時間	交通機関	研修プログラム
1	2026年 3/25 (水)	14:30 15:35 17:25 22:45	JAL ANA	帯広空港集合・出発式 帯広空港出発 羽田空港到着 ※夕食各自 羽田空港出発
2	3/26 (木)	10:30 11:00 12:30頃 16:30頃 17:30頃 18:00頃	貸切バス 送迎車	シドニー国際空港到着 シドニー国際空港内で昼食 ※昼食各自 シドニー国際空港出発 メルローズハイスクール到着（対面式） メルローズハイスクールを出発しホームステイ先へ 宿泊先到着
3	3/27 (金)	終日	送迎車	学校体験プログラム（ホームステイ先と往復）

4	3/28 (土)	終日 18:00頃	送迎車	ホームステイ
5	3/29 (日)	15:00 19:00 19:30	送迎車 貸切バス	ホームステイ メルローズハイスクール出発しシドニー市内へ シドニー市内到着・ホテルチェックイン 夕食
6	3/30 (月)	9:00 18:00 18:30 21:45	徒歩 貸切バス ANA	ホテル出発 シドニー市内自由行動 ※昼食各自 ホテル集合・空港へ シドニー国際空港到着 ※夕食各自 シドニー国際空港出発
7	3/31 (火)	5:35 7:50 9:20 9:35	JAL	羽田空港到着 羽田空港出発 帯広空港到着 解散式・各自解散

(4) 参加・引率者

【参加者名簿】

	氏名	性別	学校名	学年	備考
1	谷山 心緒	女	幕別中学校	2	
2	レイン 蓬 ケイティ	女	幕別中学校	2	副団長
3	松岡 愛実	女	糠内中学校	2	
4	小野 柚葵	女	札内中学校	2	
5	高瀬 友里愛	女	札内中学校	2	
6	吉田 小梅	女	札内中学校	2	副団長
7	羽田野 結月	女	札内中学校	2	
8	杉本 優月	女	札内中学校	2	
9	山口 采姫	女	札内中学校	2	
10	山本 凜香	女	札内東中学校	2	
11	豊吉 紗々	女	札内東中学校	2	
12	中山 絆愛	女	札内東中学校	2	
13	山本 心晴	女	札内東中学校	2	
14	高森 華愛	女	札内東中学校	2	
15	千葉 さくら	女	忠類中学校	2	
16	杉本 華陽	女	幕別清陵高校	1	団長

【引率者名簿】

	氏名	所属	備考
1	松田 貴尚	幕別町教育委員会生涯学習課	
2	グリーンハウ スティーブ	幕別町教育委員会国際交流員	
3	広瀬 桂	札内東中学校教諭	

5 アイヌ施策推進事業について

(1) 文化振興事業

① アイヌ文化伝承活動支援事業

ア) アイヌ伝統儀式再現事業

アイヌ文化拠点施設において行う予定のアイヌ伝統儀式の伝承講座に使用する祭具（トゥキ（酒杯）、イクパスイ（捧酒箸）、オッチケ（折敷）、チタラペ（文様入りゴザ）等）の作製を実施するもの。

② アイヌ文化普及啓発事業

ア) アイヌ文化講座の開催

・「アイヌ民族が作った博物館」

日 時：令和8年2月1日（日）午後1時～2時30分

場 所：札幌内コミュニティプラザ 集会室

講 師：国立アイヌ民族博物館研究学芸部教育普及室室長補佐 立石 信一 氏

参加者：47人

内 容：白老の旧アイヌ民族博物館が設立された時代背景とその経緯に関する話をはじめ、幕別出身のアイヌ指導者である吉田菊太郎の生涯をたどりながら蝦夷文化考古館が誕生するまでの歩みについて講演いただいた。

イ) アイヌ文化体験講座の実施

・「味わいながら学ぼう！アイヌの植物活用 試飲・試食会」

日 時：令和7年11月6日（木）午後1時30分～3時30分

場 所：札幌内コミュニティプラザ 会議室4

講 師：アイヌ文化学び会（モセの会）田守 千香子 氏

アイヌ文化学び会（モセの会）奥 京子 氏

参加者：14人

内 容：キハダやカツラ、ヤブマメ等の十勝在来の有用植物について、文献資料等を通して学習するとともに、実際に試飲・試食することを通して、アイヌの人々がどのように植物を活用したか、理解を深めた。



・「木彫りのスマホスタンドを作ろう！」（予定）

日 時：令和8年3月7日（土）午後1時～3時

場 所：幕別町百年記念ホール 木工芸室

講 師：マクンベツアイヌ文化伝承保存会 廣川 昌嘉 氏

内 容：廣川講師の指導のもと、彫刻刀でアイヌ文様を彫ったスマホスタンドを作製する。

・「やさしいアイヌ語入門」（予定）

日 時：令和8年3月12日（木）午後1時30分～3時30分

場 所：札幌内コミュニティプラザ 会議室1

講 師：アイヌ語上級講座（帯広）元講師 安藤 日出通 氏

内 容：安藤講師の指導のもと、アイヌ語の入門講座を開催する。

(2) 地域・産業振興事業

① アイヌ文化情報発信事業

ア) 企画展・巡回展の実施

- ・「図書館で出会うアイヌ文化展」

日 程：令和7年12月4日（木）～18日（木）

場 所：幕別町図書館 本館ギャラリー

内 容：アイヌ文化に関連する書籍の展示のほか、蝦夷文化考古館で展示されていた民具、現在のアイヌ文化伝承者の作品等の展示を行った。



- ・「アイヌ民族の装いとくらし」

日 程：令和8年3月3日（火）～6月30日（火）

場 所：幕別町役場庁舎1階 町民ロビー、
札幌コミュニティプラザ コミュニティホール（3月17日（火）～）

内 容：蝦夷文化考古館で展示されていた民具を2か所にて展示するもの。

イ) 道央圏PRの実施

- ・「幕別町観光物産展」

日 時：11月13日（木）～14日（金）

場 所：ホテルポールスター札幌1F屋外特設会場

内 容：会場内にアイヌ文化に関するコーナーを設置し、アイヌ文化について紹介するパネルや資料を展示したほか、来場者にアイヌの人々が愛飲していた温かいお茶を提供し、お茶で用いた植物に関するアイヌの人々の活用方法について紹介した。

- ・令和7年度「ほっかいどう応援セミナーin札幌」

日 時：令和8年1月26日（月）午後2時～午後4時30分

場 所：赤れんが庁舎（北海道庁旧本庁舎）

内 容：企業・団体に対してアイヌ文化拠点空間整備事業のPRを行った。

(3) コミュニティ活動支援事業

① アイヌ文化学習推進事業

ア) 公営塾の実施

- ・「アイヌ文化を学び隊」の実施

日 時：令和8年1月9日（金）午前9時半～正午

場 所：幕別町民会館 講堂

講 師：モセの会 田守 千香子 氏

アイヌ語上級講座（帯広）元講師 安藤 日出通 氏

参加者：17人

内 容：冬休み「学び隊」の参加者を対象に、前半はアイヌ語のミニ授業、後半はアイヌ文様の版画体験を行い、アイヌ語とアイヌ文様について学習した。



報告第4号 社会体育係所管事業の報告について

1 冬季スポーツ教室

(1) 初心者スキー教室【幕別地区】

- ① 日 時 令和8年1月10日(土)・11日(日)
午前10時00分～午後0時00分
- ② 場 所 明野ヶ丘スキー場
- ③ 対 象 小学生以上
- ④ 講 師 幕別町スキー協会

※雪不足により、明野ヶ丘スキー場がオープンしないため中止

(2) 初心者スケート教室【幕別地区】

- ① 日 時 令和8年1月8日(木)・9日(金) 午前10時00分～午前11時30分
- ② 場 所 幕別運動公園スケートリンク
- ③ 対 象 町内の幼児(年中・年長)、小学1・2年生
- ④ 参加者 51人
- ⑤ 指 導 1/8 三輪 準也さん・久保 向希さん(幕別町応援大使)
1/9 三輪 準也さん・久保 杏奈さん(幕別町応援大使)
幕別札内スポーツクラブスタッフ
- ⑥ 内 容 スケートの初歩的な乗り方を体得し、氷に親しむとともに冬季における健康の増進を図ることを目的に開催し、参加者の滑走レベルに合わせた練習を行った。

2 リフレッシュ教室(主催:スポーツ推進委員会)

- (1) 日 時 令和8年1月27日(火) 午後3時00分～午後3時50分
令和8年1月31日(土) 午前10時00分～午前11時15分
- (2) 場 所 札内スポーツセンター武道場
- (3) 参加者 43人
- (4) 指 導 幕別札内スポーツクラブスタッフ
- (5) 内 容 町民の体力向上や自己の健康増進への関心を深めるため毎年開催している。今年度は、モルック体験会を行った。参加者を5～6人のチームに分け試合を行ったが、年齢や性別に関係なくプレーする事が出来ていたため、大いに盛り上がっていた。

3 未来のオリンピック選手を育てる事業

○アスリートふれあいイベント

(1) 圓道 将良選手、三浦 憂さん(幕別町応援大使)

- ① 日 時 令和7年12月27日(土) 午後2時00分～午後4時30分
- ② 場 所 札内スポーツセンターアリーナ
- ③ 参加者 町内サッカー少年団員(白人サッカー少年団、Spo-RE幕別札内SC、札南W E E D) 1年生～6年生 52人
- ④ 内 容 三浦選手、圓道選手には、全試合に参加してもらい7人制のミニゲームで対戦した。子ども達にプロのスキルを間近で体感してもらった。

(2) 三輪 準也さん、久保 向希選手、久保 杏奈選手(幕別町応援大使)

- ① 日 時 令和8年1月8日(木)・9日(金) 午前10時00分～午前11時30分
- ② 場 所 幕別運動公園スケートリンク
- ③ 参加者 スケート教室参加者 51人 ※幼児(年中・年長)、小学1・2年生

- ④ 内 容 例年、教育委員会が主催している「初心者スケート教室」に三輪準也さん、久保向希選手、久保杏奈選手を講師として招き実施した。教室では、参加者のレベルごとにグループを分け、初心者向けのメニューを指導していただいた。最後に本気の滑りを披露してもらい、間近で迫力のある滑りを見たこども達からは歓声が上がった。

(3)桑井 亜乃 さん（幕別町出身オリンピック）

- ① 日 時 令和8年2月17日（火）午前9時30分～午前11時10分
② 場 所 糠内小学校
③ 参加者 糠内小学校全校生徒15人
④ 内 容 授業の一環としてタグラグビー教室と講演を行った。前半のタグラグビー教室では、始めの練習では桑井さんのユーモアのある進行で生徒たちの笑顔が多かった。続いての試合形式では、桑井さんが審判となり進行した。初めは、ルールに慣れず苦戦していた生徒たちも、桑井さんからのアドバイスもあり、最後にはスムーズな試合となっていた。後半は、「夢を叶えるために」と題して講演を行った。桑井さんからは、失敗を恐れず、色々な事にどんどん挑戦してほしいと言葉があった。

報告第5号 生涯学習係所管事業の報告について

1 十勝ジオサイト写真展

- 日時 10月1日(水)～3月31日(火)
場所 忠類ナウマン象記念館
内容 十勝の地形や地質、自然を特色づける場所の写真や代表的な岩石を展示。
今回は「十勝の自然史研究会」の会員が撮影した写真や多数の資料を展示し、多くの来場をいただいている。



2 かぼちゃプロジェクト～円山動物園とのオンライン授業

- 日時 11月28日(金)
場所 忠類小学校体育館
内容 忠類小学校と札幌市円山動物園をオンラインでつなぎ、飼育担当者から児童がアジアゾウの生態を学んだり、忠類小児童がゾウ糞堆肥で栽培したかぼちゃをゾウが美味しく食べている様子を映像で観察した。



3 忠類こどもスキー教室

- 日時 1月24日(土)、31日(土)
場所 忠類白銀台スキー場
内容 保育所年長児童から小学3年生までの14人の参加により行った。
保育所年長児童の中には初めてスキーを履く子もいたが、白銀台スキー学校の講師が初歩から指導し、2回の教室で全員が滑れるようになった。



4 ナウマン象記念館講座「ゆり根カレーで忠類ナウマン象を美味しく学ぼう！」

- 日時 3月15日(日) 11時～12時
場所 忠類ナウマン象記念館
定員 10人
対象 親子、一般、どなたでも
内容 忠類の特産である「ゆり根」と「ナウマン象」を美味しく学びましょうという講座で、昨年好評であったことから2年連続の企画である。
最新の研究によって、忠類ナウマン象は死後に洪水で流されて土砂に埋まり化石になったことが判明しているため、ゆり根カレーを使ってその状況を再現してもらう内容で、ゆり根の展示コーナーでは忠類ゆり根耕作組合員による解説により栽培の特徴やおいしさの秘訣を教えてください。

5 ナウマン象記念館講座「化石のレプリカを作ろう！」

- 日時 3月21日(土) 11時～12時(1回目)、14時～15時(2回目)
場所 忠類ナウマン象記念館
定員 10人
対象 親子、一般、どなたでも

内 容 博物館では本物そっくりのレプリカを展示しているが、化石を使ってレプリカづくりに挑戦してみようという講座である。

アンモナイトか三葉虫の型に石膏を流し込んで作り、色付けをして完成させる内容である。

6 ナウマン象記念館講座

(1)「親子ミニ発掘体験教室」

日 時 3月22日(日) 10時～10時45分(1回目)、11時～11時45分(2回目)

場 所 忠類ナウマン象記念館

対 象 町内小学校1、2年生の児童

定 員 各回12組の親子

内 容 足寄動物化石博物館の学芸員が講師となり、砂を固めた発掘キットを使い、本物の化石やクリスタルを取り出す発掘作業を体験する。

(2)「ラピスラズリ磨き講座」

日 時 3月22日(日) 13時30分～15時

場 所 忠類ナウマン象記念館

対 象 町内小学校3～6年生の児童

定 員 各回12組の親子

内 容 足寄動物化石博物館の学芸員が講師となり、ラピスラズリを磨いて輝かせ石は磨くと宝物になるということを体験する。

7 講演会『古代DNAが語り出した「ナウマンゾウの来た道」』

日 時 3月29日(日) 13時30分～15時

場 所 忠類ナウマン象記念館

講 師 国立科学博物館 生命史研究部
部長 甲能 直樹氏(こうの なおき)

定 員 40人

内 容 ナウマンゾウが属するパレオロクソドン属は、かつてユーラシア全域に広がった絶滅したゾウ類で、昨年、山梨大らの研究チームがナウマンゾウの古代DNA解析に初めて成功し米科学誌に発表された。

今回は研究チームの1人である国立科学博物館の甲能直樹氏を招いて、その成果について講演を行う。



講演会
古代DNAが語り出した「ナウマンゾウの来た道」

3月29日(日) 13:30～15:00

会場：忠類ナウマン象記念館
(朝日町忠類白旗町)

定員 40名、先着順

要申込：電話 01558-8-2826
(9:00～17:00、休館日)

参加無料
※事前の申し込みは必要ありません
※資料でお返しはいたしません

講師
甲能 直樹 さん
国立科学博物館 生命史研究部 部長
ナウマンゾウが属するパレオロクソドン属は、かつてユーラシア全域に広がった絶滅したゾウ類です。昨年、山梨大らの研究チームがナウマンゾウの古代DNA解析に初めて成功し米科学誌に発表しました。今回は研究チームの1人である国立科学博物館の甲能直樹氏を招いて、その成果(ユーラシア全域でのパレオロクソドン属の分布、ナウマンゾウの来た道)について講演を行います。

8 化石発掘調査報告書

ナウマンゾウ化石発掘調査のほか、今回は昨年10月に開催された全国ナウマンゾウサミット in 幕別の成果も盛り込んだ報告書を令和8年3月末に刊行予定である。

報告第6号 図書館所管事業の報告について

1 図書館を核としたまちづくり事業

(1) 十勝東部4町図書館交流連携事業 図書館と本で健康になろう！

図書館の連携事業として、本町では医療図書の特集収集および特集収集に関連した健康講座を実施し、図書館から発信する地域住民の健康づくりに取り組めます。

- ① 各館の特集収集 幕別：ストレス・認知症 池田：循環器 浦幌：食
豊頃：メンタルヘルス

② 健康講座「指先から始める脳トレ～紙バンドでかご作り～」

- ・日 時 11月1日（土）午後2時～4時
- ・場 所 幕別町図書館 研修室
- ・内 容 手先を動かすと脳が活性化され、認知症の予防や認知機能の改善に役立つ効果があるため、紙バンドを使用した制作作業を通じ、町民の健康維持に役立つ講座として実施しました。
- ・参加者 16人（定員16人、事前予約にて満了）



(2) 図書館協議会会議の開催

有識者および公募者10名により構成された図書館協議会の会議を開催し、図書館事業等についてご意見を伺っております。

第3回 日時 令和8年3月5日(木)

議題 第4期幕別町子どもの読書活動推進計画の達成状況について
令和8年度 図書館運営計画（事業計画）について

(3) ARを活用した情報発信

AR（拡張現実）の機能を活用し、地域情報、郷土の史跡などのコンテンツを図書館サポーター等によって作成しています。

○ 主要コンテンツの視聴回数（R7.12末実績）

- ・歴史の散歩道【マップ版】 2,656回（全89か所中34か所公開）
- ・歴史の散歩道【現地版】 111回（全89か所中34か所公開）
- ・オリンピックメッセージ 219回（5人）
- ・まくべつ観光スポット 423回（5か所）
- ・まくたいとる 1,925回（325冊）
- ・その他 1,274回（43タイトル）

2 図書館資料を活用した取組

時事や季節等、多種多様なテーマによる図書展示を開催しています。他課、他機関と連携した展示も積極的に実施しています。

- 世界自閉症啓発デー（北海道自閉症協会十勝分会）、LGBTQ+・ジェンダー、消費者被害防止啓発（住民課）、子どもの権利条約（こども課）、性教育、世界アルツハイマーデー（保健課）、戦争と平和（教育委員会）、原爆パネル展（総務課）、春・秋の火災予防週間（消防署）、ガイアナイト展示、道みんの日（十勝総合振興局）、ナウマン象（生涯学習課）



※参考：「戦争と平和」（左写真）、「原爆パネル展」（中央写真）、「ナウマン象」（右写真）

3 マイファーストブックサポート事業

(1) 絵本・絵本バッグのプレゼント

乳児期から親子で本を楽しむ機会を提供し、心豊かに安心して子育てが出来る環境を整えることを目的に、7・8か月乳児健診会場に司書が訪問し、保護者に読み聞かせのコツなどを説明するとともに、絵本1冊をプレゼントするものです。

令和2年度から、中札内高等養護学校幕別分校と連携し、生徒がシルクスクリーンでプリントした図書館オリジナルキャラクターの絵本バックに入れてプレゼントしています。

あわせて、生徒のおすすめ絵本コーナーを設置しています。(R7.12末実績：89人)

(2) マイファーストブックサポート実施後のフォローアップ

① 1歳から3歳児の保護者向けの貸出セット「おひざでブック（絵本と子育てに関する本、1セット5冊）」を貸出しています。(R7.12末実績：貸出数 225冊 45人)

② 1.6歳児健診会場にて、おすすめ絵本セット「おうち絵本セット」を貸出しています。(R7.12末実績：貸出数 75冊 15人)

③ 子育て支援センターの子育て講座開催時に、テーマに合わせた図書展示及び貸出を実施しています。(R7.12末実績：貸出数 20冊 39人[うち新規登録4人])

④ 子育て支援センターあおば分室の「開放日」において、0歳から就学前までの幼児を対象とする「にこにこの日」に司書が訪問し、絵本の読み聞かせ及び子育て関連図書の貸出をしています。(R7.12末実績：貸出数 106冊 29人)

⑤ 子育て支援センター主催「移動あそびの広場」を図書館本館で開催しています。(R7.12末実績：実施回数3回 参加者数37人)

⑥ 絵本選びの一助となるように7・8カ月児健診会場や図書館内でおためし絵本セットの貸出をしています。(健診会場43人 215冊、図書館内38人 190冊)

⑦ 月ごとのテーマに合わせて、発達支援センターに個人宅への持ち出し可能な図書の展示・貸出を実施しています。(R7.12末実績：貸出数81冊 46人)

⑧ 乳児と保護者を対象としたおはなし会を実施しています。(R7.12末実績：参加者人：子ども61人、大人46人)

⑨ 図書館司書によるプチおはなし会を奇数月は本館、偶数月は札内分館で実施しています。(R7.12末実績：参加者13人：子ども6人、大人7人)

4 第4期幕別町子どもの読書活動推進計画策定（令和5年4月）

図書館では、子どもたちの読書環境の充実を図るため、移動図書館車による小学校等への巡回、司書による学校図書館訪問、中学校図書館の蔵書登録と蔵書管理支援など、各学校との連携に努めています。また、ボランティアグループに協力いただき、学校での読み聞かせも実施しています。

(1) 小中学校への団体貸出セットの活用

家庭での読書活動（家読）を支援するため、図書館で選書したセットによる小学校（一部中学校）への学級単位での団体貸出（個人宅への持ち出し可能）を実施しています。

(R7.12末実績：貸出数 8,131冊 44クラス)

(2) 小・中学校長期休業期間における学童保育所への巡回サービスの実施

スワディ号の一部が運休となる小・中学校の長期休業期間に合わせて、町内学童保育所へスワディ号を巡回するサービスを実施しました。

① 期間 冬季休業：12月24日（水）～1月13日（火）

② 実績 冬季休業：15件 16冊（1/5あすなろ学童）

(3) 「まっく・ざ・まっく 貸出文庫」の実施

「まっく・ざ・まっく」に通所している児童・生徒の年代に合わせた図書展示や自宅に自由に持ち帰り読むことができる貸出文庫を設置し、月約30冊を入れ替えています。

5 読書週間事業 「おすすめし帯(たい)!!まくたいとる～本の帯総選挙～」

子どもの読書週間（4月23日から5月12日）・秋の読書週間事業（10月27日～11月9日）にあわせた読書活動を進める事業として、令和4年度まではPOP（キャッチコピーや文章・イラストなどを用いて本の魅力を伝えるメッセージカード）のコンテストを開催し、令和5年度より、本についての紹介文等を掲載し、本の表紙に帯のように巻かれた紙、「帯」のコンテストにリニューアルしました。

また、令和7年度の審査につきましては、利用者による投票制度から、職員及び図書館協議会による審査方式に変更して実施しました。

- (1) 募集期間 5月12日（月）～9月28日（日）
- (2) 審査期間 1次審査 9月29日（月）～10月31日（金）
2次審査 11月5日（水）

(3) 募集内容

- ①手書きイラスト部門 手書きでイラストや本の紹介文を自由に書く。
 - ②デジタルデザイン部門 パソコンやタブレットを使ってイラストや本の紹介文を書く。
 - ③コピーライター部門 文だけで本の紹介文を書く。
- (4) 応募数 184作品（手書きイラスト部門101作品、デジタルデザイン部門49作品、コピーライター部門34作品）

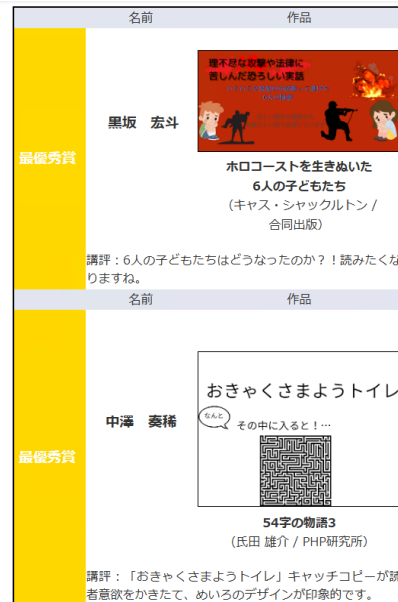
(5) 審査結果

- ①手書きイラスト部門 応募があった幼児、小学生低学年、小学生高学年、中学生の部について、各部最優秀賞、優秀賞、佳作を決定しました。
- ②デジタルデザイン部門 最優秀賞、優秀賞、佳作を決定しました。
- ③コピーライター部門 応募があった小学生高学年、一般の部について、最優秀賞、優秀賞、佳作を決定しました。

※上記受賞作品については、幕別町図書館HP及びマチアルキアプリにて公開中です。



※HP上のバナー



※受賞作品の紹介

6 企画事業

(1) MCL総選挙～押しイベントを決めよう！～

講座やイベントを実施するにあたり、図書館利用者が参加したいと感じるものはどんなものか、どのような催しを求めているかを知り、次年度以降の企画・運営に役立てることを目的とする。また、選挙がどのような取り組みで、投票によって何が決まるのかなど選挙活動を身近に感じてもらうことも目的として実施しました。

① 期間：令和7年11月9日(日)～令和7年11月16日(日)

(期日前11月9日(日)～15日(土)、投票日16日(日))

② 投票総数：312票

③ 結果：「貸出上限冊数の増加」への投票が多かったため、これを軸としたイベントを令和8年度実施する予定。(現在は、年末年始に貸出冊数を10冊から20冊に増やす取り組みを行っている。)

7 コミバスde映画会【毎月1日のコミバスデー】

毎月1日(土・日・祝日の場合は翌運行日)のコミバス無料の日に合わせて、映画会を開催しています。(R7.12末実績：107人 [うちコミバス利用4人])

8 町民文芸「まくべつ」41号を発行 特集「食の思い出」

特集をテーマにした寄稿作品のほか、小説・誌・俳句など幅広いジャンルの作品を掲載しています。文芸誌は、1冊500円で幕別町図書館(本館・札内分館・忠類分館)、幕別町役場などで販売しています。

◆第42号(令和8年10月1日発行予定)の原稿を募集しています(R8.3.31まで)

9 その他

スワディ講座【あかちゃんと本であそぼう！：本館3/8、札内分館3/15実施予定】、北の本箱、幕別切り絵の会作品展、雑誌無料配布[4月]、古本交換市[6月・11月]、芸術講座(忠類、人形劇)[12月]、まくべつ子ども映画会[3月]、ボランティアグループによる読み聞かせや紙芝居、図書館サポーターによる本の修理など多彩な図書館活動を実施中です。

また、小・中・高校生の職場体験や小学生の社会見学の受入れも実施しています。



※写真左上：古本交換市

※写真右上：忠類人形劇(ぱぺっとくれよん)

※写真左下：中札内高等養護学校幕別分校の作業学習(お直しサポーターによる指導)

3 審議事項

議案第1号 令和7年度 文化賞・スポーツ賞等の選考について

※別紙 表彰候補者一覧表及び令和7年度幕別町文化賞・スポーツ賞等表彰候補者推薦要領参照
(事前送付にて配布済み)

4 その他

○文化・スポーツ賞等表彰式

日時：令和8年3月20日（金）（春分の日）午前10：00～

①善行賞・標語最優秀賞表彰式

②文化・スポーツ賞等表彰式

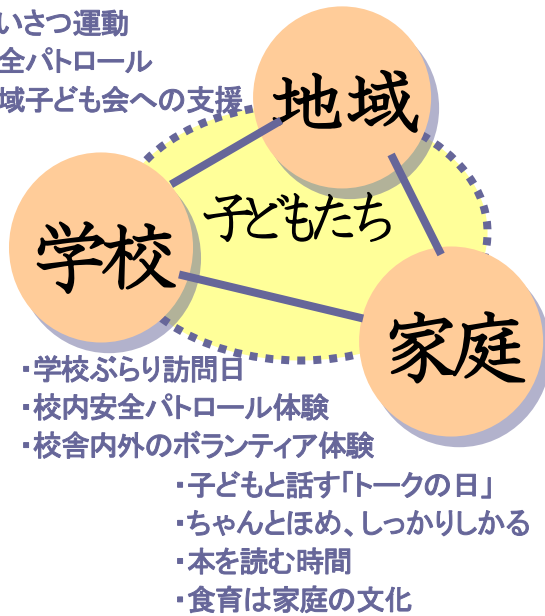
場所：百年記念ホール 大ホール

毎月19日は まくべつ教育の日

たとえばこんなこと

- ・子ほめ、子しかり運動
- ・あいさつ運動
- ・安全パトロール
- ・地域子ども会への支援

しっかり聞く・見る
いっぱい遊ぶ・話す
いっしょに読む・食べる



- ・学校ぶらり訪問日
- ・校内安全パトロール体験
- ・校舎内外のボランティア体験
- ・子どもと話す「トークの日」
- ・ちゃんとほめ、しっかりしかる
- ・本を読む時間
- ・食育は家庭の文化

○幕別町教育の日憲章

わたくしたちは、自己を高め、明るく豊かな暮らしが営めるよう、毎月19日を幕別町教育の日と定め、ふれあい、響きあい、磨きあいながら、ともに伸びる教育をめざします。

- 1 あたたかい家庭をめざして
 - ・家族だんらんの機会をふやし、子どもの自主性と個性、やさしい心を育てます。
 - ・家族が協力して、子育てにあたります。
- 2 あかるい地域をめざして
 - ・子どもは地域の宝、まちの宝、あたたかく成長を見守ります。
 - ・子どものために、よりよい環境をつくれます。
- 3 たのしい学校をめざして
 - ・ゆとりある教育をめざし、豊かな心をはぐくみます。
 - ・来て・見て・知って、みんなで学校づくりにつとめます。

子どもをまん中に
家庭・地域・学校が一つに

幕別町教育委員会

○令和7年度 幕別町社会教育委員名簿

番号	氏名	郵便番号	住所	備考
1	もり ひろよし 森 浩嘉			(1)学校教育関係者
2	あさみ さとし 浅見 聡			(1)学校教育関係者
3	こんどう やすこ 近藤 泰子			(2)社会教育関係者
4	たかみち あきお 高道 昭夫			(2)社会教育関係者
5	みやもと あきら 宮本 彰			(2)社会教育関係者
6	いちかわ とおる 市川 徹			(2)社会教育関係者
7	はらだ けいじ 原田 啓二			(2)社会教育関係者
8	なるみ ゆきや 鳴海 走也			(2)社会教育関係者
9	いけだ あきこ 池田 明子			(3)学識経験者
10	ふくしま ともひろ 福島 智大			(3)学識経験者
11	しんぼ みやこ 新保 都			(3)学識経験者
12	まつだ てつひろ 松田 哲博			(3)学識経験者
13	にしだ としゆき 西田 利幸			(3)学識経験者
14	とりけ じょうしょう 鳥毛 浄生			(3)学識経験者
15	いはら みきえ 井原 みきえ			(3)学識経験者

任期：令和8年5月29日まで

教育委員会職員一覧（社会教育関係）

教育長 笹原 敏文

教育部長 石田 晋一

- 【生涯学習課】 谷口 英将 （生涯学習課長）
有田 泰浩 （生涯学習課副主幹）
松田 貴尚 （社会教育係長）
瀧川 奈々 （社会教育係）
大山 結加 （社会教育係）
小林 鈴菜 （生涯学習推進員：会計年度任用職員）
吉田 享平 （社会体育係長）
宗廣 琉我 （社会体育係）
添田 雄二 （ナウマン象記念館館長・学芸員）
土井 秀樹 （生涯学習係長：再任用）
林 隆則 （生涯学習係：再任用）
菅原 健一 （生涯学習推進員：会計年度任用職員）
- 【図書館】 川瀬 真由美 （館長）
森 考由 （図書係長）
清水あずさ （図書係）
西川 美羽 （図書係・司書）
國安 弘昭 （図書係）
民安 園美 （札内分館図書係長・司書）
佐藤 里香 （札内分館図書係・司書）
土井 秀樹 （忠類分館図書係長）
福田 真希 （忠類分館図書係・司書）